

令和5年大井町議会第2回定例会

一般質問書

令和5年6月

通告順	質 問 事 項	質問者	(分)時間	頁
1	・大井町の循環型社会への取組について	和田紀昭	50	1
2	・町のさらなる活性化に向けた人事管理を問う	岡田幸二	50	2
3	・自治会の現状と協働のあり方について	黒岩陣太郎	40	3
4	・読書活動の推進について ・誰もが安心して暮らせる町づくりについて ・切れ目のない子育て支援について	伊藤奈穂子	60	4
5	・待機児童問題について ・幼稚園と保育園の安全・安心な管理・運営について ・包括的性教育について	大石 舞	60	5
6	・金子開成和田河原線工事の進捗状況と安全対策について ・学校等における医療的ケア児の支援について	重田有紀	60	6
7	・大井町地域防災計画について ・中学校の部活動について	清水亜樹	50	7
8	・特産品の開発・育成の仕組みづくりについて	田中正彦	50	8
9	・自治会担当職員制度の現状を問う ・令和3年度行政評価について問う	牧野一仁	60	9

質問者	通告1番 4番 和田 紀昭 議員	通告時間 50分
		答弁者 町 長
質問事項	大井町の循環型社会への取組について	
要 旨	<p>これからの社会は生活のなかで廃棄されていた製品などを「資源」と考え、リサイクルなどを推進して資源を循環させることが必要であり、廃棄物の発生や資源の採掘を抑制しなければならない。</p> <p>先日、企画経済常任委員会で視察した福岡県の大木町では令和2年のリサイクル率65.4%と衝撃の実績であった。全てにおいて共感したものではないが見習うべき点は多数あった。</p> <p>資源のリサイクルは行政だけでなく、町民の協力が必須であるが今後の取組について以下の6点を伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 現在回収している燃やすごみの組成割合を把握しているか。 2 大井町環境基本計画でのごみ資源化率の目標値根拠は。 3 町長公約でもある環境にやさしいまちづくりの取組状況は。 4 現在大井町での古紙回収実績は。 5 大井町役場内での古紙再生、ペーパーレス化への取組は。 6 今後の新たな取組は。 	

質問者	通告2番	通告時間 50分
	6番 岡田 幸二 議員	答弁者 町 長
質問事項	町のさらなる活性化に向けた人事管理を問う	
要 旨	<p>町は常に行財政改革に取り組み、町民に対して最良のサービス提供を心掛け、効率化を進めている。昨今、DXが叫ばれワンストップ行政が進むことで、利用者の利便性を図り町民サービスの向上につながる。また、行政サイドでも従来手作業で何時間も掛けていたものが、IT技術やインターネットを活用しデータ化を進めることで、町民との応対時間（コミュニケーション）を充分とることができる。</p> <p>そのための原動力となるのは町の職員であり、働く人々が生きがい、やりがいある職場で生き生きと働くことである。そうすることで町はさらなる活性化が図れることとなる。町のために働きたい、町民のために職員として働きたいという人を増やし、未来ある大井町を一緒になってつくっていくことが必要と考え、以下について伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 行政の目指す役割は。 2 人材育成の考え方は。 3 キャリアマネジメントの考え方は。 4 モチベーションアップ策は。 5 若手職員の活用策は。 6 定年職員の活用策は。 7 これからの人事管理のあり方は。 	

質問者	通告3番 2番 黒岩 陣太郎 議員	通告時間 40分
		答弁者 町長
質問事項	自治会の現状と協働のあり方について	
要旨	<p>本年度は、協働によるまちづくりを最優先課題として掲げている大井町第6次総合計画第1次実施計画の最終年度である。協働のまちづくりを推進するうえで、地域づくりの根幹をなす自治会の充実は欠かせないものであるが、現状では高齢者世帯の退会や転入者の未入会などにより、加入率の低下が進んでいる。計画では、自治活動の支援や自治活動拠点整備支援に取り組むことにより、施策の目標を2025年度で加入率78%としているが、その進捗状況と今後のあり方について、以下のとおり伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 協働のパートナーとして、自治会に期待することは。 2 自治会加入の現状と課題は。 3 自治会未加入者への行政サービスのあり方は。 4 町として自治会加入者へインセンティブを与える制度を検討する考えは。 5 自治会役員の高齢化や担い手不足に対する町の支援策は。 	

質問者	通告4番 13番 伊藤 奈穂子 議員	通告時間 60分
		答弁者 町長・教育長
質問事項	1 読書活動の推進について 2 誰もが安心して暮らせる町づくりについて 3 切れ目のない子育て支援について	
要 旨	1 読書活動の推進について 令和3年3月に、第三次大井町子ども読書活動推進計画が策定され読書活動の推進に取り組んでいるが、さらなる読書環境の整備が必要であると考え、以下について伺う。 (1) セカンドブック事業の実施は。 (2) 学校図書室の蔵書をデータベース化し町図書館との連携は。 2 誰もが安心して暮らせる町づくりについて (1) 道路交通法が改正され、令和5年4月1日から自転車の運転者は乗車用ヘルメットの着用が努力義務となったが、着用率は低いのが現状である。そこで頭部の保護及び交通事故等によるけがの軽減、交通安全意識の向上を図るためにも、ヘルメット購入の一部を助成する考えは。 (2) 予防接種が有効であると言われている帯状疱疹ワクチンだが現在、任意接種であり高額のため受けられないとの声を聞く。経済的な負担軽減として接種費用を助成する考えは。 3 切れ目のない子育て支援について (1) 発達等、育児面などで不安や心配のある親子を対象に行っている健診事後フォロー教室、児童発達支援事業の成果と課題は。 (2) 発達障害等がある子どもの就園または就学の相談体制は。 (3) 特別支援学校に通う児童生徒を把握する方法は。	

質問者	通告5番 1番 大石 舞 議員	通告時間 60分
		答弁者 町長・教育長
質問事項	1 待機児童問題について 2 幼稚園と保育園の安全・安心な管理・運営について 3 包括的性教育について	
要 旨	<p>1 全ての子どもの健やかな成長を保障し、保護者を支援するため、待機児童問題の解決は町の責務である。以前私が待機児童対策を問うた際、町は子ども園に期待をすると回答した。子ども園が開園した今、改めて以下について伺う。</p> <p>(1) 今年度の待機児童の現状は。 (2) 問題解決に向けた今後の方針と対策は。</p> <p>2 町立保育園は、立地等の安全面の課題が再三指摘されている。また幼稚園についても、子どもの命を守るための体制づくりは欠かせない。子どもの安全・安心を守る環境づくりに関して、以下のとおり伺う。</p> <p>(1) 町立保育園と幼稚園の避難計画について、実効性は。 (2) 町立保育園の移転について、見解は。 (3) 相和幼稚園と大井第二幼稚園の園長兼務について、経緯と安全対策は。 (4) 園長について、正規職員化や現場経験者(幼稚園教諭や保育士の資格取得者)の採用は。</p> <p>3 2022年に神奈川県は「性に関する指導の手引き」を改定した。性暴力や性犯罪の当事者とならないよう、性差別意識の解消を図る包括的な内容である。そこで以下について伺う。</p> <p>(1) 包括的性教育について、町の推進状況は。 (2) 町の教育大綱や大井の教育に、包括的性教育を位置づける考えは。</p>	

質問者	通告 6 番 3 番 重田 有紀 議員	通告時間 60 分
		答弁者 町長・教育長
質問事項	1 金子開成和田河原線工事の進捗状況と安全対策について 2 学校等における医療的ケア児の支援について	
要 旨	<p>1 大井小学校北側を通る金子開成和田河原線の工事が徐々に進み、舗装された路面を目視できる箇所もあることから、地域住民の関心度も高まりつつある。2021年11月に開催された大井小学校保護者向け説明会から1年半という月日が経過していることを踏まえ、以下のとおり伺う。</p> <p>(1) 工事の進捗状況は。 (2) 町道5号線の拡幅工事は。 (3) 御殿場線との立体交差部分の工事期間の通行止めに伴う通学路変更に対する対策は。 (4) 道路完成後の通学路の安全対策は。 (5) 町民、児童等に向けた交通安全対策に対する啓発は。</p> <p>2 医療的ケア児とは、医療的ケアが日常的に欠かせない児童等を指す。医療的ケア児の増加や実態の多様化などを踏まえ、2021年「医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律」が施行された。この法律は、国、地方公共団体等の責務を明らかにするとともに、保護者の離職防止に資することも目的として明記している。この法律施行を受け、本町教育現場での医療的ケア児に対する支援の現状について伺う。</p> <p>(1) 町立学校の医療的ケア児の在籍状況の把握は。 (2) 町立学校の医療的ケア児への看護師配置は。 (3) 学校施設以外での学校行事における看護師配置は。</p>	

質問者	通告 7 番 1 2 番 清水 亜樹 議員	通告時間 5 0 分
		答弁者 町長・教育長
質問事項	1 大井町地域防災計画について 2 中学校の部活動について	
要 旨	<p>1 本年 3 月に大井町地域防災計画が改定され、さらなる災害に強いまちづくりを進められている。平時からの備えや体制整備が重要である。そこで以下のことを伺う。</p> <p>(1) 新たに盛土の安全性把握調査の実施が追記されたが、調査の方法と時期は。</p> <p>(2) 帰宅困難者対策として帰宅支援ステーションとあるが、どのような施設を想定しているのか。</p> <p>(3) 避難行動要支援者に対する具体的な避難方法等についての個別避難計画の策定に努める旨が追記されたが、策定を進めるうえでの具体策や課題は。</p> <p>(4) 福祉避難所については、「受け入れ対象者を特定して公示する」や「要配慮者が直接避難できるよう努める」としているが、福祉避難所の事前指定は。</p> <p>2 部活動はスポーツ、芸術文化等の活動機会を得られるとともに、体力や技能の向上に資するだけでなく、集団での活動を通じた人間形成の機会でもあり、豊かな学校生活を過ごすうえでも大切な活動である。そこで以下のことを伺う。</p> <p>(1) 現在の部活動の種類や活動状況は。</p> <p>(2) 国は教職員の働き方改革を踏まえた部活動改革を示しているが、本町の部活動の地域移行の現状と課題は。</p>	

質問者	通告 8 番	通告時間 50 分
	9 番 田中 正彦 議員	答弁者 町 長
質問事項	特産品の開発・育成の仕組みづくりについて	
要 旨	<p>1 大井町第 6 次総合計画や町長の令和 4 年度、5 年度の施政方針の中で、農業の 6 次産業化推進と謳っているが、その姿が良く見えて来ない。進捗状況と、実績があるならばその成果と反省及び今後の姿について問う。</p> <p>2 行政の支援で新たな加工品や特産品を開発する事業は、これまでも日本各地で行われ、地域活性化に繋がって来た。しかし、その多くは一過性の話題に終わり、フェードアウトしているのが現状で、大井町も同様といえる。考えられるその要因として、価格の高さ、ブランディングなどマーケティングに基づく商品開発の仕組み、あるいはボードが無いからと考える。そこで、仕組みの中で他町が行っているような特産品開発事業に対する助成金の支給等を考えているかを伺う。</p> <p>3 大井町は「産官学民」協働事業として昭和女子大学と提携しているが、大井町の特産品開発事業への参画は望めるのかを伺う。</p> <p>4 農林水産省は、「ローカル・フードプロジェクト」を推進している。「ハンズオン支援」や「テストマーケティングの導入支援」が得られるが、今後本制度を活用する考えはあるのかを伺う。</p>	

質問者	通告 9 番 1 1 番 牧野 一仁 議員	通告時間 6 0 分
		答弁者 町 長
質問事項	1 自治会担当職員制度の現状を問う 2 令和 3 年度行政評価について問う	
要 旨	1 自治会担当職員制度の現状を問う。 (1) 新型コロナウイルス感染症の影響により、自治会活動が停滞している中でどのような活動をしたか。 (2) 自治会側からの評価はどのようなものか。 (3) 自治会加入率の向上に対してどのような活動をしたか。 2 令和 3 年度行政評価について問う。 (1) 評価には評価指標を設定し、数値目標を定めて達成度を評価するためのルールやツールを明確なものにすると説明されているが、どのようなものか。 (2) 一次、二次、三次評価の結果が優良、良好、適正がすべてであるが、要改善などはないのか。 (3) 評価結果を行政運営に反映させる必要があるが、P D C A サイクルは回せているのか。 (4) 施策評価の導入目的に職員の意識改革があり、事業への目的意識やコスト意識が芽生え、町民の視点に立った事業の企画や実施など、企業的経営感覚を養成し、職員の意識改革を目指すとしてきているが、成果はあったか。 (5) 外部委員会が選定した 9 施策はどのように抽出したのか。 (6) 外部委員会の評価作業日程はどのようになっているか。 (7) 外部委員を公募する考えは。	